



## 「わたしたちは神のもの」

～意識的に主と深く交わる～

「見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう。」

ヨハネの黙示録3章20節

イタリアでのG7サミットでのトランプ大統領の話題が尽きません。特に人々が注目していたのは、メラニア夫人との不仲説。冗談のような内容ですが、全世界が注目するファーストカップルのちょっとした行動を面白がっている部分もあります。トランプ大統領が手を握ろうとしても、夫人が拒否。それでも果敢に手を握ろうと必死になっている大統領の姿が私も男性の端くれとして、涙ぐましいと感じてしまいました。

昨日、NHKラジオを聴いていたら今度の6/11(日)午後9時から総合テレビで放送されるNHKスペシャル「ニッポンの家族が非常事態!?妻が夫に“キレル”本当の理由～離婚の危機を招く女脳・男脳～」の紹介がされていました。今、日本の離婚率も欧米並みになってきていることに危機感を覚え、どうにか歯止めをかけることはできないかということで、NHKが総力を挙げて、科学的に分析を進めた結果、どうも、男性と女性の根本的な脳の違いが原因ではないかという内容に行き着いたとのことでした。男性は長い歴史の中で、命がけの狩りに出て、その極度の緊張感と恐れを「忘れる」という習性が根付いてしまった。しかし、女性は日々育児やコミュニティー形成のために奔走し、コミュニケーション能力の向上、記憶力の発達がなされていった。そして、ホルモンの分泌がなされて、「記憶」をしっかりとしている女性脳と、すぐに「忘れる」という男性脳が出来上がっていった。しかし、現代では、社会環境の変化によって、男性が育児をする、女性が社会進出をするという役割変化も急激になされていることによる弊害に対して、適応、順応が追いつかない状況があるという分析結果がなされるようになった。そのことによってさらに夫婦間の関係に困難さが増しているせいではないか？とのことでした。

それらをNHKでは「進化」と説明していますが、男性と女性ではもともと神様の創造のわざの中で異なる性として創造されました。NHKでもこの異性であるという個性を踏まえながら、関係を改善していく工夫や知恵を模索するというものですので、興味深い内容でもであると期待しています。嫌なことも、良いこともすべて忘れるようになっている男性に対して、どんなことに対してもきちんと記憶しておぼえている女性。それぞれの特質を意識しつつ、共に向き合う努力をしていくことが重要なのだということです。

私たちと神様との関係も同様に感じます。神様は私たちのことをすべてご存知ですが、祈りを通して敢えて伝えて欲しいと願っています。それには時間がかかります。ペンテコステ(聖霊降臨記念日)を前に、主との深い交わりをさらに求めて欲しいと思います。